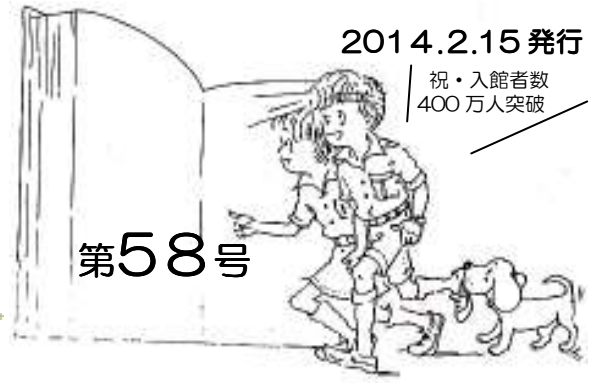


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第58号



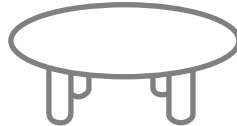
特集 図書館の展示 あれこれ

図書館内には、テーマに沿った本を集めて展示してあるコーナーがいくつかあります。よくご利用されている方にとってはおなじみのコーナーですが、今回の特集ではどんな趣旨でどんな展示をしているのかを改めてご紹介します。なお現在行っている展示につきましては、ホームページでも一覧で確認できますので是非ご覧ください。

◆ 展示テーブル (1ヶ月(毎月))

- ⇒ 1階：図書館入口右 楕円形テーブル
- ⇒ 毎月のテーマを職員が交代で考え、本を選んでいきます。来館された方がふと足をとめ、手に取ってもらえるようなテーマを心掛けています。

- ・ ホームページから過去3年分は閲覧可
- ・ 展示リスト過去分は全て保存あり



【書架29】

◆ 特設展示 (3週間程度(随時))

- ⇒ 2階：階段を上った右側 階段寄りの1~2棚〈青枠〉
- ⇒ 著名な作家の追悼、芥川賞・直木賞発表時、時事の大きな話題、クリスマス・年末・お正月、などその時々をとらえた資料を展示しています。即時性が命!の棚です。

◆ 新着図書コーナー (8週間程度(随時))

- ⇒ 2階：階段を上った右側 真ん中の2棚〈黄枠〉
- ⇒ 新しく入った本は、まずこちらに8週間ほど並びます。各分類の棚に行く前のお披露目の棚です。

- ・ 館内検索端末の新着案内からもジャンル別に検索可能

◆ 書庫の本紹介コーナー (3ヶ月(1,4,7,10月))

- ⇒ 2階：階段を上った右側 学習コーナー寄りの1棚〈緑枠〉
- ⇒ 書庫に入っている本も利用者の目に触れる機会を、という趣旨の棚です。小説を中心にテーマを絞って100冊程度の本を並べています。

▼ ティーンズ展示 (2ヶ月(偶数月))

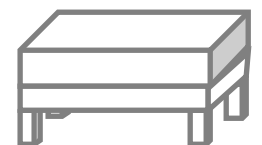
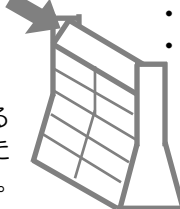
- ⇒ 2階：ティーンズコーナー吹き抜け側 ブックトラック
- ⇒ 10代の方々のアンテナに響くような、ちょっぴりひねりのきいたテーマが特徴です。ちなみに昨年は「深海」「涙」「仏像に会いに行こう!」など好評でした。



フェイスアウトとは
正面(表紙)を出して置く
こと CD架ではここ

▲ AV展示 (1ヶ月(奇数月+12月))

- ⇒ 1階：AV資料コーナーCD架 フェイスアウト
- ⇒ 視聴覚資料(DVDやCD)のなかからテーマを設けて集めることで、いつもと違った見方、聞き方ができればと始まった展示です。12月のクリスマスソングの展示は定番で大人気。



図書館に来る楽しみの一つにさせていただけるような展示をこれからも行っていきたいと思っています。たくさんのご利用お待ちしております。

展示架名 (展示サイクル(入替))

- ⇒ 展示場所
- ⇒ 展示の趣旨・テーマ
- ・ 特にお知らせしたいことなど



Ⓔ 児童展示テーブル (1~2ヶ月(季節毎、テーマ年2回))

- ⇒ 1階：こどものほんコーナー中央 ツリー型展示テーブル
- ⇒ 季節の展示と年2回のテーマ展示です。本だけでなく手づくりの小物などを使って、春は春らしく、その時期らしい季節感のある空間を演出しています。夏休み期間には季節の展示に加え、課題図書やすすめたい本も並びます。

【児童雑誌架】

Ⓔ あたらしいほん (8週間程度(随時))

- ⇒ 1階：こどものほんコーナー入口 雑誌架中央
- ⇒ 図書館に新しく入った児童書は、まずこちらに8週間ほど並びます。それぞれの棚に行く前のお披露目の棚です。

Ⓔ 特設展示 (3週間程度(随時))

- ⇒ 1階：こどものほんコーナー入口 雑誌架右側
- ⇒ 著名な児童文学作家等の追悼や生誕記念の際、資料を展示しています。

Ⓔ 書庫の本紹介コーナー (2ヶ月(奇数月))

- ⇒ 1階：こどものほんコーナー入口 雑誌架右端
- ⇒ 普段は書庫にあるけれど是非読んでもらいたい本や絵本を定期的に紹介しています。
- ・ コーナー看板のねずみの名前は「しょう」と「かい」

こんな展示もしています!

♣ 地域展示ケース (3ヶ月(1,4,7,10月))

- ⇒ 2階：奥の地域資料コーナー 木枠ガラスケース
- ⇒ 主に二宮ゆかりの人物についての展示です。所蔵資料だけでなく、館外から借用した貴重な関連資料を展示しています。

- ・ 所蔵資料であっても展示期間中は貸出不可
- ・ ホームページ地域資料のページに展示一覧を公開

11月～1月の新着本&DVD

2013年11月～2014年1月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)

本

『世界の夢の本屋さん2』

(清水玲奈/エクスマレッジ/12.7/024セ)

画像
なし

夢の本屋さんシリーズ第2弾。欧州、アジア、南米のイチオシの34店を臨場感あふれる美しい写真と共に紹介。オーナー・店長・店員の魅力あるコメントも豊富で本好きには必見。

『レンズが撮らえた150年前の日本』

(小沢健志監修/山川出版社/13.8/2105レ)

画像
なし

幕末から明治中期に撮影された150年前の人々の暮らしと生活、日本各地の風景を古写真で300点以上収録。貴重な写真の一部に鉛細工、西瓜売り、横浜駅、箱根などがある。

『図解絵で見て覚える包み方・たたみ方大事典』

(毎田祥子監修/日東書院本社/13.10/385.9ズ)

画像
なし

日々の暮らしに活かせる「包み方」「たたみ方」150例をイラストと写真で分かりやすく紹介。こんなものにまでたたみ方が……新たな発見があり面白い。プロからのアドバイスや「家事に役立つプラス情報もあり実用的な一冊。

『木の実の呼び名事典-散歩で見かける』

Wonderful Gifts from Trees-

(亀田龍吉/世界文化社/13.9/471.1カ)

画像
なし

散歩で見かける身近な木の実80種の呼び名と由来を鮮明な生態写真と組み合わせて掲載。寄生木と緋連雀の共生関係のように意外な秘密や不思議も知れて散歩が楽しくなる一冊。

『盛岡・南部鉄器の今』

-400年の歴史受け継ぐ炎の芸術-

(村上洋一/織研新聞社/13.9/581.1ム)

画像
なし

海外で高く評価され国内でも見直されつつある岩手県盛岡の南部鉄器。数寄者に愛され人々の暮らしと共に進化した南部鉄器の魅力とは……? 匠たちへのインタビューやお手入れ方法も掲載。

『別れの何が悲しいのですかと、』

三國連太郎は言った』

(宇都宮直子/中央公論新社/13.10/778.2ミ)

画像
なし

昨年90歳で亡くなった役者バカと言われた三國連太郎。三國夫妻と20年来の友人である著者が、彼の素顔を綴る。映画のスーさんを思わせる穏やかで品のある日常の姿が魅力的。

映像DVD (出演者/収録時間/請求記号)

『DVD 美術館-世界名画 Best100-3』

(田辺清監修/46分/708テ)

画像
なし

名画とされ人気のある西洋絵画のうち100点をテーマ別にまとめた5巻セットのうちの人物編。BGMには絵画にマッチしたクラシックが流れ、リラクゼーション効果も得られます。

児童書

『進め!サムライブルー』

-サッカー日本代表感動の20年ヒストリー-

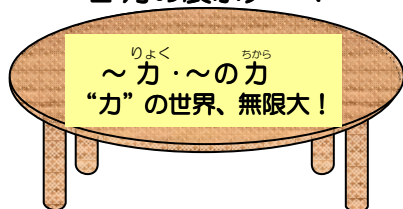
(林壮一/講談社/13.9/783ハ)

画像
なし

「ドーハの悲劇」や2002年の日韓共催ワールドカップ……、サッカー日本代表の20年間を元代表選手・現代表選手のインタビューを交えて迎えます。

展示テーブルから

—2月の展示テーマ—



画像
なし

←紹介本

『人間関係力-困った時の33のヒント-』

(齋藤孝/小学館/08.10/159サ)

以前は「鈍感力」、最近「聞く力」、この他にも「共感力」・「会話力」・「前向き力」と「力」のつく言葉を多く目にしたり耳にしたりします。今回の展示は様々な世界をもたらしてくれる「力」をキーワードに本を集めてみました。

展示テーブルより紹介する1冊は、『人間関係力-困った時の33のヒント-』です。私達が悩みがちな状況を具体的に設定し、その状況に活路を拓くヒントを賢者の言葉を活かしながらQ&Aの形で提示しています。33人の賢者の言葉に「なるほど」と思い、成功例だけでなく、失敗から努力し学んでいく姿に前向きにさせてくれる力が満載の1冊です。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



画像
なし

『ぼくの図書館カード』

- グレゴリー・クリスティ
- 新日本出版社
- '10.11
- Eクリ

1920年代のアメリカ南部。黒人ゆえに図書館カードが作れない主人公が、白人の理解者を得て本を読み、自由な世界への扉を開きます。アメリカの作家リチャード・ライトの自伝をもとに作られた絵本。好きな本を好きなだけ読める喜びを再認識させてくれます。

講座を終えて

講座名：絵本はここのおやつ～after ブックスタート～

開催日：2013年11月29日(金) ラディアソミーティングルーム2にて

昨年11月29日、にのみやおはなし会との共催で、乳幼児の保護者の方を対象にした講座「絵本はここのおやつ～after ブックスタート～」を開催しました。「ブックスタートは受けただけで、どんな絵本を読んだらいいのかな？」という方に、読み聞かせについての概要や、おはなし会メンバーの子育てと絵本に関する体験談をお話する講座で、今回が初めての試みでした。

「生活の中で絵本を取り入れる」「下の子が生まれた時上の子は……」「本が聞けない子には」など、実際に子育て中にあった体験談に、参加者からは「とても穏やかな気持ちになれました」「私自身も絵本を楽しみたいと思います」という感想がありました。

親子で一緒に絵本を楽しむ時間は、赤ちゃんにもお母さんお父さんにもかけがえのない体験になります。図書館ではそんな体験をお手伝いできるような、絵本の紹介・講座の開催を今後も行っていきたいと考えています。



↑絵本を読む時間も取り、穏やかな空気に包まれた講座になりました。

ベストオーダー

2013年11月～2014年1月

※この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 疾風 Rond / 東野圭吾
- 2 海賊とよばれた男 上・下 / 百田尚樹
- 3 祈りの幕が下りる時 / 東野圭吾
- 4 はなとゆめ / 沖方丁
- 5 まほろ駅前狂騒曲 / 三浦しをん
- 6 ホテルローヤル / 桜木紫乃
- 7 政と源 / 三浦しをん
- 8 村上海賊の娘 上・下 / 和田竜
- 9 夢幻花 / 東野圭吾
- 10 とっぴんばらりの風太郎 / 万城目学

ふう～ん ダメになることをなぜ「おじゃん」というの？

江戸時代、火事の時、火の見櫓の半鐘を打ち鳴らして皆に知らせた。鎮火後もゆっくり半鐘をジャーン、ジャーンと打った。そこから終わったことを「おジャーンになる」といい、転じてダメになることも「おじゃんになる」というようになった、との説がある。

二宮ゆかりの人物

おおがき ちえこ
大垣 千枝子

〔エッセイスト〕

「夫が六十歳を期にマスコミ関係の仕事^やを罷め、東京から二宮町に引っ越してきたのは、今から十一年（昭和四十八年）ほど前である。／長寿の里と呼ばれているこの地は、東京から湘南電車で一時間二十分、東名高速道路を通れば、車で一時間足らずで着く距離である。／南は相模湾、西は箱根連山から富士山を仰ぎ、北は丹沢山塊を望み、東は相模平野に接して、小さな丘陵に囲まれている。気候温暖で自然の風物に恵まれているが、最近^は開発が著しく進められ、一戸建ての住宅がたち、六つの団地が次々にできた。十年もの間に町の人口は倍になり、現在は三万人近くになっている。」

— 大垣千枝子著『遠い薔薇』『杉林のある風景』冒頭より —

画像
なし

大垣千枝子(1917～2013)は、昭和48年から22年間二宮町百合が丘に住んでいたエッセイストです。大正6年3月1日に土肥村城堀（現在の湯河原町）に生まれ、昭和8年に小田原高女を卒業しました。卒業後は事務手伝いで、昭和16年に最初の結婚をしましたが、5年後に前夫を病気で亡くします。昭和21年頃には小田原駅前^{とん}で叔母と喫茶店を営んでおり、その頃一軒おいた隣りで小さな本屋をやっていた大垣三郎と知り合って、昭和34年に結婚しました。その後夫がTV局勤務になったため、東京に引越します。

夫の大学時代の恩師が里見弴（図書館だより36号掲載）だった縁で、鎌倉の里見邸へも頻りに訪問し、結婚の当日も里見邸でお祝いを催してもらうなど家族ぐるみの付き合いをしていました。昭和48年、夫の退職を機に二宮に転居すると、弴が大垣邸を訪れることもありました。自宅には里見弴の書いた書や額などいろいろあったそうです。

千枝子は日本随筆家協会主催の随筆教室に通っていて、書き溜めたエッセイを昭和63年に『遠い薔薇』という本にまとめました。その後出版した『朴散華』で平成3年度第24回日本随筆家協会賞を受賞しました。暮らしていた二宮の自宅周辺はまだ自然豊かで、庭の木々や花々、やってくる鳥、近所との交流など二宮での日々を多くのエッセイにまとめています。

昭和60年8月に夫三郎が73歳で亡くなると、その後千枝子は二宮を離れ、伊豆山のシルバーマンションへ住まいを移しました。その後も、二宮で親しくしていた方たちが伊豆山を訪問するなど交流が続いていたそうですが、平成25年2月19日、95歳でこの世を去りました。伊豆山での暮らしなどをまとめた『伊豆山の海』が平成10年に発行されています。

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

お知らせ・お願い

★住所や氏名、電話番号の変更がありましたらお知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をお持ちください。

★雑誌スポンサーの募集について

平成 25 年度に引き続き、雑誌コーナー充実のため、「雑誌スポンサー」を募集します。雑誌本体、最新号の雑誌カバー及び雑誌架にスポンサー広告を掲示します。詳しくは図書館までお問い合わせください。


※スポンサー制度の要綱は図書館ホームページで確認できます。


行事


※くわしくはお問い合わせください。


2月							休館日
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28		

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

 ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(※2月は第1水曜日)

 わらべうたであそぼう!
第3金曜日(※3月は第2金曜日)

 おおきいおはなし会—小学生からおはなし会とおりがみあそび
第3土曜日

 図書館託児サービス
第3木曜日

※ 4月以降の休館日・行事は館内掲示・ホームページでお知らせします。

講座を終えて

講座名:「文学散歩 軽便鉄道100年

～歴史と文学をたどって～

開催日: 2013年11月16日・23日

講師: 石井敬士氏(元二宮町図書館 図書館アドバイザー)

今回の講座は1日目に講師による講義、2日目は軽便鉄道の廃線跡を中心に初めて町内の一色方面を中井町まで歩きました。お天気にも恵まれ、参加者は、歴史と文学について講師のお話を聞きながら6キロ近いコースを歩き、当時の様子を想像しながらの楽しい一日となりました。



(←中井町の巖島湿生公園にて)

にんぎょうげき大会

月日 3月21日(金・祝)

時間 午前10:30～11:30

場所 ラディアソ ミーティングルーム2

演目 11ぴきのねこ ふくろのなかくりとぐら

●「てぶくろ座」と「大きなたまご」による人形劇です。

※入場無料。事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

展示テーマ

12月	一般/『ベストリーダー2013』
	児童/『きよしこの夜』
	A V /『I wish you a Merry Christmas!』
1月	一般/『走る! 歩く!』
	児童/『あったかいおへやで冬の本』 A V /『2013年CD貸出ベストランキング』
2月	一般/『～カ～の力 “カ”の世界、無限大!』
	児童/『あったかいおへやで冬の本』

■特設展示(11～1月)

『辻井喬さんをしのんで』
『クリスマス・年末・お正月特集』
『第150回芥川賞・直木賞発表』
『坂東眞砂子さんをしのんで』
『小林カツ代さんをしのんで』

■書庫の本紹介コーナー

1～3月・・・『銀行員から作家へ』

■地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

1～3月・・・『特別コレクション
「柴野拓美」PART3』

ご協力ありがとうございます

図書館基金

1月末までの累計

3,653,091円

《月別合計》

11月 **4,246円**

12月 **6,794円**

1月 **2,618円**

ひとつだけ ～編集後記にかえて

二宮の駅の改札を入れてホームに向かう途中、「滝のおトイレです」というアナウンスが聞こえる。滝の流れが素晴らしい庭園のような広いトイレが一瞬間に浮かび、「・・・だから違うって」と毎度打ち消す。実際は「多機能トイレです」と言っているのだが、聞く度に思い浮かんでしまっても苦笑……。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>



図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物
ガイドブック』
好評発売中!

